2025 年度 文化学園大学 学部編入学試験

服装学部ファッション社会学科　専門演習（ゼミナール）教員紹介

ファッション社会学科は、3 年次より各領域を専門とする教員とともに、専門ゼミナールで自分の興味を深堀し、研究領域を確立させます。ファッション社会学科の学部編入学試験に出願する方は、3 年次からの希望研究領域と専門ゼミナールの教員 1 名を選び、別紙「ゼミ希望理由・研究計画書」に記入してください。
※本資料の他に、文化学園大学ホームページの「教員紹介」もご参照ください。

下記の「ゼミ活動内容」は 2024 年度 3 年次を対象としたものです。

担当教員名	**糸林　誉史**
専門	文化人類学（文化と価値創造）
ゼミ活動内容	【文化とメディアの社会課題へフィールドワークとエスノグラフィ法でアプローチする】
	①『炎上 CM でよみとくジェンダー論』の輪読　②夏休みの新書レポート（テーマ探し）
	③100 分で名著のディスカッション　④聞き取り調査とプレゼン　＊ゼミ活動では Slack 使用

担当教員名	**岡林　誠士**
専門	心理（行動変容）
ゼミ活動内容	ファッションに関する心理的現象の理解を通して、社会的課題に取り組む。各種の調査や企画
	等の実施・参加から体験的に人間と社会について学ぶ。

担当教員名	**北方　晴子**
専門	ヨーロッパ服飾文化史・民族服飾・染織史
ゼミ活動内容	1. 関心のある時代のファッション（アート、音楽、映画等を含む）を通して、その時代を定義
	づける。2. 服飾文化史の視点から、その時代の男性イメージを探る。
	全員が自分の関心のあるテーマでレポート発表を行い、服飾文化史研究の手法を学ぶ。

担当教員名	**工藤　雅人**
専門	文化社会学・ファッション研究
ゼミ活動内容	主にファッションに関する社会学や人文社会科学の論文や書籍を輪読し、「概念」や「理論」
	を使いながら、社会学的に思考する方法を身につけることをめざす。

担当教員名	**熊谷　伸子**
専門	ファッションと環境の関わりに関する研究
ゼミ活動内容	「ファッションと環境の関わり」をキーワードに探索的な社会調査をグループで行う。
	①ファッションにおける循環型社会のあり方の検討（木更津コンセプトストアにおけるイベン
	トの実施、回収衣類、学内残布の分析・活用法の検討）②若年層のファッション意識について
	企業（無印良品を予定）と調査。
	ゼミ活動に必要なため、選択科目「社会調査演習」をゼミ必修として履修すること。

担当教員名	**小林　幹彦**
専門	ファッション小売企業の戦略
ゼミ活動内容	企業・ブランド・商業施設、各業態などについて調査、分析しプレゼンを行う。またブランド・ショップ新規出店の企画立案を実施する。必要に応じて実際に店舗・施設へ出向いて見学を行う。

担当教員名	**小松　浩一**
専門	マーケティング・マネジメント
ゼミ活動内容	マーケティングや経営（マネジメント）をテーマにビジネスの発想と実践を身につける。社会環境・業界分析・企業研究・ケースメソッド・店舗視察・グループ研究などを通じて、各自が自分自身のテーマを発見・追究し、自己発見をめざす。

担当教員名	**下山　かおり**
専門	日本服飾文化史
ゼミ活動内容	ファッションを中心とした現象を文化史的な観点から読み解く。2023 年度はモダンガールの登場とイメージ像の形成、明治期の洋装の過程、江戸の「意気」と服飾などについて調査・ディスカッション、レポート作成を行った。

担当教員名	**田中　里尚**
専門	ファッション雑誌やメディア史
ゼミ活動内容	雑誌、映画、Web などのメディアを資料に用いながら、日本の近現代のファッション現象について考える。歴史的にメディアとファッションの関わりを見ていくことでいろいろなメディアに触れてみよう。

担当教員名	**横山　淳**
専門	ビジネスを取り巻く社会変化
ゼミ活動内容	現在起きている社会現象、次の新たな変化の兆しに着目し、その背景、要因、これからの予測について調査、研究する。調査・研究・発表を繰り返すこと、研究に基づき、実際の現場に出向いて確認すること、外部講師の話を聞くことで、さらに知見を広げる。

担当教員名	**李　熙明**
専門	ラグジュアリーブランド・消費者行動
ゼミ活動内容	ラグジュアリーブランドについての知識を深めるとともに、ブランド戦略における特徴、および一般ブランドとの違いを探求する。また、関心のあるラグジュアリーブランドを一つ選び、それに関する情報をグループで収集・分析し、発表を行う。